

ワンコイン・スクール通信

NPO法人 アジア教育友好協会

〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

電話 03(6426)0720 /FAX 03(6426)0721

<http://blog.canpan.info/aefa/>

2010年2月12日 子どもが創る夢の学校 ワンコイン・スクール第1号 ポンタン小学校 ついに開校！！

子どもたちの行動と力で創る夢の学校第1号、ラオスポンタン小学校がついに完成！2/12に、広瀬小菊地校長先生を迎え、開校式を開催！単にお金を寄附するのではなく、無駄遣いをしないようがまんしたり、お手伝いをしたり、子どもたち1人ひとりがラオスの友だちを思い、考え、努力してお金を貯めた積み重ねが、こんなに立派な小学校という夢の形になりました。協力してくださった全国16の学校の子も達、先生、保護者の皆さま、ありがとうございました。

開校式では、まず、日本の友だちがどのようにしてプロジェクトに参加してポンタン小建設のために支援をしたか・・・を紹介しました。

開校式には、サラワン県副知事や、郡教育局幹部など、行政からも参加。同校は「日本の子どもたちからの支援校」として、大きな注目を浴びているとのこと。『涼しい二重屋根』に加え、カラフルで美しい仕上がりで、サラワンでもモデル校として注目を浴びているとのことでした。

菊地校長先生が、校舎の中央にある鐘楼に鐘を吊るし、子どもたちの手で鐘の音が響き渡ると、自然と大きな拍手が起きました。そして子どもたちの輝く笑顔！日本とポンタンの友だちの夢と友情をのせた鐘の音が、学校に、そして村中に美しく響きわたりました。

サラワン郡知事の挨拶

「教育は、大変重要です。子どもたち全員が小学校を卒業し、中学に進学できるよう、重点対策として取り組みたいと思います。そういう意味でも、今回のご支援は大変素晴らしい事です。特に、日本の子どもたちからなされた支援というのが素晴らしい！日本の子どもたちに伝えてください。私たちはみんなで、村人全員で、この学校をずっと大切にします。村人の協力と日本の子どもたちのがんばりで作られたこの学校は、モデル校になることでしょう。本当にどうも有り難うございました」



日本の友だちからと記された校門



日本の友だちのがんばり～活動を紹介！



新校舎は、5教室+交流の部屋、教員室からなります。先生の数は5名で、全学年がそれぞれの教室で学べるようになりました。

校舎の前で、プロジェクトに協力してくださった学校の垂れ幕を持って記念撮影を行いました。開校式に参加していなくても・・・みんなの気持ちは現地に届いています！

ポンタンの友だちも、日本の友だちのがんばりに負けないよう、勉強や、校庭の整備や植樹を行います。

また、AEFAの開校式恒例！つなひき大会も行われました。いつか日本の友だちとも遊びたいな・・・

校庭には、子どもたちの歓声があいつまでも響いていました。



共同発信校、仙台市立広瀬小菊地修治校長先生を囲んで



ポンタンの子どもたちの反応は・・・！？

開校式で、菊地校長先生が広瀬小&愛子小からの文房具を贈呈。えんぴつその他にも、けしごむや鉛筆削り、定規などたくさん！！使い方を説明したお手紙も入っていました。さっそく、その鉛筆を使って愛子小の友だちへお手紙を書きました。ヴィセツちゃんからのお手紙を紹介します。



日本の友だちへ

新しい小学校で、みんなからおくれた色々な種類の文房具を使って勉強することができて、とってもうれしいです。文房具、すっごく気に入っちゃった！！わたしの新しい小学校で勉強していると、なにもかも全部とってもすてきだから、いい気分です。だから、もっともっと勉強できちゃうし、もうゼツタイ留年はしないよ。

(注)ラオスの小学校は、進級試験があります)

みんなが、わたしたちが勉強できるように、とってもきれいな学校を支援してくれました。本当にどうもありがとう！



ポンタン小4年生 ヴィセツより



日本の友だちの想いは、ラオスの友だちに届いています・・・！！
第2号、3号のワンコインスクールをみんなで作っていきましょう！！

各校の取り組みを紹介します♪

東京都武蔵村山市立第八小学校

プロジェクトの精神を大切に、6年生の子どもたち1人ひとりが「がんばりカード」でがんばりました。

「この取り組みを通して得られることは、教科書で完結する学びではありません。大人がしっかりと土壌を作ったうえで、こういう取り組みを入れると、本当に子どもたちはガラッと変わります。そして、大人は、見守ることが大事なんです。」(小野江校長先生談)

八小の取り組みは、テレビ東京「すなっぷ」で3/31放映されました。



東京都武蔵村山市立第十小学校

5年生と6年生の代表32名が親善大使に任命。上級生が下級生に「がんばりカード」活動を広め、全校で開始！

「子どもたちが主体的に活動するようになりました。校長室に来ては、色々報告してくれます。布団しきや血洗いや弟や妹の世話、各家庭で話し合っているようです。5&6年生は、1回10円で50回がんばって達成ですから・・・毎日やるのは結構大変のようですが、逆にお母さんに「お手伝いなんて当たり前の事でしょ～」と言われたりして(笑)。親子の対話も増えているようです」(榊校長先生談)

達成者には、認定証が毎週月曜の朝礼時に校長先生から授与され、記念撮影が行われます。全校児童の前で認定されるのは、子どもたちにとってはげみと誇りにつながっています。



ワンコインスクール事務所も発足

宮城県仙台市立愛子小学校

6-1が冬休みにがんばった「がんばりカード」運動。お米とぎ、布団の上げ下ろし、お皿洗い&ふき、お風呂そうじ、玄関そうじなど、1人ひとりが家で相談して目標を決めて取り組みました。子どもたちの発案で、アルミ缶を集める活動(10個で5円になります)にも取り組みました。このがんばりでたまったお金で、新品の文房具を買いました。新しいものを買おうという意見と同じくらい、今あるものを再活用しよう、という意見も出、鉛筆のリサイクルもがんばりました。毎日のようにクラスで話し合い、考え、思いをめぐらせながら活動に取り組みました。



6-3は開校のメッセージと、しおりを手作り。開校式で1人ひとりに手渡されました。



6-2ではミサンガを1つ1つ手作りしました。これは、ラオスのお祈りの儀式・パーシーの写真を見た児童たちから、「ミサンガに似てる・・・！ラオスの友だちにあげたい！」との声がかきかけでした。開校式で菊地校長先生からポンタンの子どもたち1人ひとりの手首に結びました。次々に女の子が菊地校長先生の前で列を作り、先生は嬉しい悲鳴！！

また、PTAとリンクした活動で絵本を集め、ラオス語の翻訳を貼り、贈呈。絵本は開校式で、菊地校長先生と、ラオスN GOスタッフ クムカムさんから紹介されました。他にも、手編みのラオスと日本の国旗や、がんばってラオス語・タイ語で書いたお手紙も贈りました！みんな、喜んで読んでいましたよ～！！

また、愛子小を紹介する校舎見取り図も届けられました。ポンタン小の子どもたちは、大きな学校～、たくさん教室があるんだねえ！とびっくり。次々に紹介される日本の友だちからの作品に、目を見張っていました。



福井県坂井市立丸岡中学校&丸岡南中学校

丸岡南中では、生徒会執行部が中心となり、秋の文化祭でバザーを行いました。お菓子を100円で販売し、そのうちの20円を募金に充てるなど、工夫した活動を行いました。

丸岡中(AEFA理事長の出身中学校です！)では、パネル展示とDVDでAEFAの活動を紹介。募金活動も行いました。福井支部 三浦三博先生(前 平章小学校校長)が、各校をまわってプロジェクトをフォローしてくださいました。



福井県坂井市立高椋小学校

高椋小学校では、JRC委員会の子どもたちが中心となって募金活動を行いました。

「一人ひとりが少しずつがまんするだけで、ラオスにすむ子どもたちが学校にかよえるようになることを知ったので、これからもたくさんのお金を通してまずしい人々が、えがおになってくれるとうれしいです。」
「ラオスのポンタン小学校は、高椋小学校とはちがってとってもまずしい小学校だと思いました。かべとかがない学校が、ろう下などができてよかったです。きふしたお金が大切にに使われていてうれしいです。」



AEFAからのおしらせ：2010年度

ワンコインスクールプロジェクトは、第2校目を計画中です！